

## 1 学校教育目標

「生きる喜びを実感する第二小の子どもたち」

- ・元気で明るく、のびのびと生活する子を育てます。（体）
- ・自分を表現し、互いの思いを大切にすることを育てます。（徳・開）
- ・人を思いやり、進んで活動する子を育てます（徳・公）
- ・問題解決に、ねばり強く努力する子を育てます（知）

## 2 中期学校経営方針

### (1) 学校経営中期取組目標

#### 学校経営中期取組目標

- 「だれもが安心して豊かに」生活できる学校を目指します。  
～全ては子どものために～（子どもにとってどうかで判断をする）
- 子ども一人ひとりを大切にしながら、まちとともに歩む学校を目指します。  
～豊かな学びへ向けて、地域との連携をよりいっそう進める～
- 全教職員による協力指導體制の構築します。  
～教職員、保護者、地域住民、関係機関を含めたチーム二小の構築～

### (2) 「豊かな心の育成」に向けた重点取組分野・取組目標・具体的取組

重点取組分野	取組目標	具体的取組
豊かな心	人を思いやり、進んで活動する子を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・縦割り活動（ふれあい）活動において、様々な学年との関わりを通して、人と関わる楽しさや、上級生として下級生を思いやる態度を育て、自己有用感の育成を図る。</li> <li>・人権教育を進め互いの違いを認め合う心の育成を図る。</li> <li>・道徳教育を学校の全教育活動を通して計画的・発展的に行い、子どもがねらいとする道徳的価値を自分との関わりの中で考えさせることにより、主体的に道徳の学習に取り組ませる。</li> </ul>
担当	人権部 道徳部 ふれあい部	

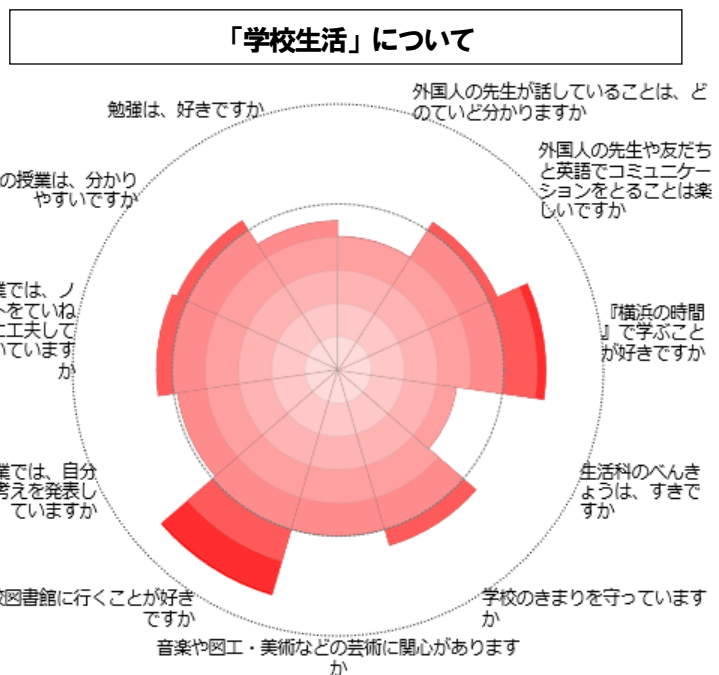
## 3 児童（生徒）の実態（「豊かな心の育成」にかかわる重点課題）

#### 【児童の実態】

児童数は、375名で、2学年は3学級、1、3～6年、個別支援学級は2学級である。落ち着いた雰囲気の中で、学習に臨み、休み時間も外で遊んだり思い思いに過ごしたりするなど比較的のびのびと過ごしている児童が多い。

右のグラフは、昨年度2月に行った「横浜市学力・学習状況調査」における児童のアンケート調査の本校の平均と横浜市の平均（内側の点線で示された円）を比較したものである。

「学校生活」においては、「学校図書館に行くこと」が最も高く、次いで「横浜の時間（総合）で学ぶ」「学校のきまりを守っている」「ノートを工夫する」など自分のペースで学ぶことに関心をもっている児童や、学校生活や学習において、自分で気をつけて生活している児童が多いことがわかる。このことは、本校の学校教育目標で目指す子どもの姿「自分を表現する子」「進んで活動する子」と合致する。また、「豊かな心の育成」に関する具体的取組にある指針4 豊かな感性や情操の育成の【視点11】豊かな感性・情操を育む読書活動の充実とも合致する。



一方、「生活科のぺんぎょうは、すきか」「外国人の先生が話していることは、どのていど分かるか」「自分の考えを発表している」「勉強は、好きか」という項目では、市平均より低い数値が出ている。自分のペースで学習している児童は多いが、思いや考えをどう表現してよいかわからず、結果、学習やコミュニケーションの中で苦手意識を感じている児童も多いのではないかと考えられる。

右のグラフは、児童の「自己意識」のアンケート調査の結果である。

「あいさつ」「人の気持ちを考える」の項目が高いことから、家庭や学校での教育であいさつの大切さや、人の気持ちを考えることを意識する声かけがされていて子どもたちの中で意識が高いことがわかる。

「誰かの役に立つ人になりたい」と思う数値も高く、他者への意識の高さや、相手のためになることをした時に達成感や自己有用感を感じた経験をしている子どもが多いのではないかと考えられる。「ものごとを最後までやりとげられてうれしかった」経験もあり、総じて、「自分のよいところがあると思う」という気持ちが高いことがわかる。

一方で、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」という項目では、「どちらかといえばそう思う」や「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」という回答があったことを重要視したい。いじめは、一人一人が豊かな生活をする権利を奪うもので、どんな理由があれ、許されることではない。今回の結果を受けて、本校の子どもたちと、誰もが心地よく学校生活を送るために何が大切かを考えていく契機としたい。

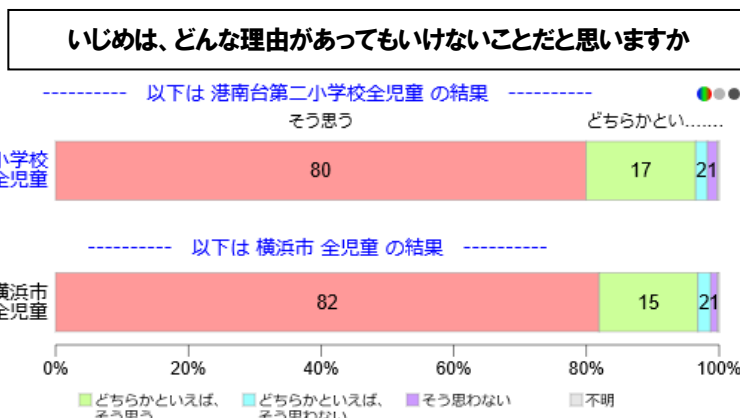
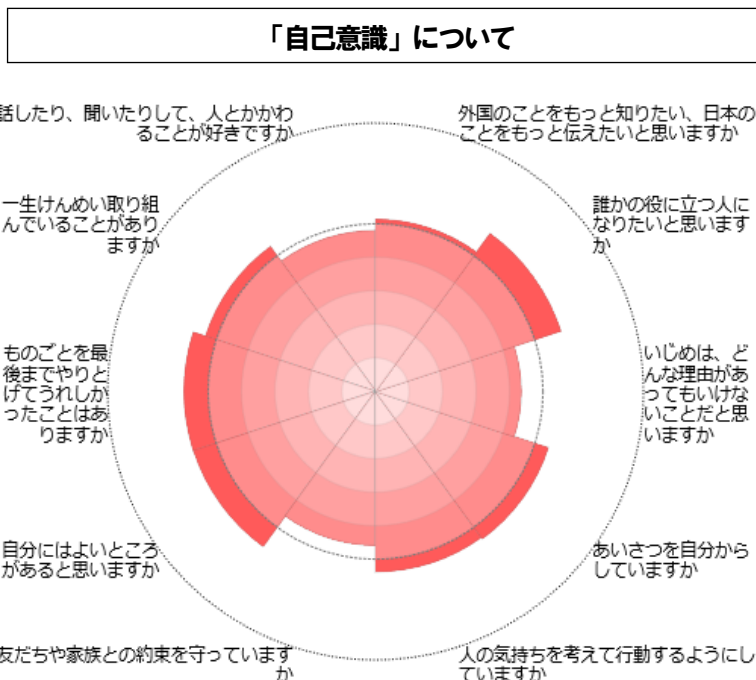
また、「友だちや家族との約束を守っていますか」や「話したり聞いたりして、人とかがわかることが好きですか」という項目も平均より低かったことから、本校の子どもたちは、自分の行動を客観的に見ることができている

「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」という項目についても、建前でなく正直に回答した子が多いのではないかと。なぜ、「どちらかといえばそう思う」や「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」といった回答があったのか、回答した背景を見ていく必要がある。

**【重点方針】**

- 自分のよさを発揮しようとする姿勢を伸ばす。
- 自分の思いを表現するよさや互いの思いを大切にするよさを実感する機会を多く設定する。
- 自分の思いを表現する方法や相手の思いを受け止める方法を指導支援していく。

「学校生活」の調査からは、自分のペースで学習している児童は多いが、思いや考えをどう表現してよいかわからず、結果、学習やコミュニケーションの中で苦手意識を感じている児童も多いことが考えられる。「自己意識」の調査からは、「誰かの役に立つ人になりたい」と思う児童たちが、学校生活の中で「いじめはよくないことだと思っているけれども、どう対応してよいかわからない」と感じたり、「人とかがわかりたいけれども、どうかかわってよいかわからない」、「約束は大切だけれども、守れないこともある」と感じたりすることがあるのではないかと考えられる。本校の児童のよさ「自分のよさを発揮しようとする姿勢」を伸ばし、自分と他者と双方を大切にしていくなかかわりかたを身につけさせていくことを本年度の重点課題をしていきたい。そのために、次で挙げる具体的取組を行っていく。



### 3 「豊かな心の育成」に関する具体的取組

【参考】「横浜版豊かな心の育成推進プラン」で示された4つの指針と11の視点

指針1 「道徳の時間」の充実	指針3 確かな人権感覚・意識の育成
【視点1】要となる「道徳の時間」の指導	【視点6】人権教育の充実
【視点2】児童・生徒にとって魅力的な教材	【視点7】子どもの社会的スキルの育成と安全・安心な学級・学校風土の醸成
指針2 体験活動の充実	【視点8】特別支援教育の充実
【視点3】望ましい集団活動	【視点9】国際理解教育の推進
【視点4】発達の段階と照らした課題の位置付けとキャリア教育	指針4 豊かな感性や情操の育成
【視点5】環境教育の充実	【視点10】優れた文化・芸術に触れる活動の充実
	【視点11】豊かな感性・情操を育む読書活動の充実

【本校の重点的・具体的取組】

<p><b>指針1 「特別の教科 道徳の時間」の充実</b></p> <p>【視点1】要となる「特別の教科 道徳の時間」の指導          ねらい：道徳教育の要となる道徳の時間の指導を通して、子どもが道徳的見方・考え方・感じ方を多様に広げ、自己を深く見つめ、よりよく生きようとする道徳実践力を身に付けられるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全学級の道徳授業公開を年一回以上実施する。</li> <li>・道徳的価値について自ら考えるきっかけとなるよう「私たちの道徳」を積極的に活用する。</li> <li>・道徳教育全体計画・別業と連動させた指導計画づくりをする。</li> </ul>
--

<p><b>指針2 体験学習の充実</b></p> <p>【視点3】望ましい集団活動          ねらい：望ましい集団活動を通して、集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築いていこうとする自主的・実践的態度が育ち、自己の生き方についての考えを深め、自己を生かす能力を伸ばせるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 思いを表現し伝わるよさや、相手の意見を聞き自身の考えが広がるよさを実感する活動の充実</li> <li>・国語科の重点研究を通して積み重ねてきた「話し合い活動」の力をもとに、感じたことや調べたことを伝え合う活動を「総合的な学習の時間」（1・2年は「生活科」）を通して行っていく。そのために、子どもたちが主体的にかつ、問題解決学習に取り組んでいけるような題材、人材の設定を行う。</li> <li>○ 体験的活動を通して、学ぶ意欲や人・ものとの関わりを楽しむ態度の育成</li> <li>○ 「係活動」や「当番活動」の充実</li> <li>・学級の「係活動」や「当番活動」に自主的に取り組むことができるように、自分たちで計画を立てて運営できるようにする。</li> <li>○ 「異年齢集団活動」の充実</li> <li>・「児童会活動」「クラブ活動」「たてわりふれあい活動」などの「異年齢集団活動」を、より自主的、意欲的に行うことができるようにする。</li> <li>○ 「集団宿泊体験」の充実</li> <li>・小中学校での学びを見通したうえで活動のねらいを設定し、校外の豊かな自然や文化に触れる「集団宿泊体験」を充実させる。</li> <li>○ PTA・父親の会・はまっこふれあいスクール・地域等との協力関係の構築</li> <li>・子どもが、「異年齢集団活動」「豊かな自然や文化に触れる活動」などに参加する機会をもつことができるように、地域に協力を要請する。          (筋肉番付、とん汁・昔遊びの会、紙飛行機大会、一中校区サマーフェスティバル、港南台のまちの授業)</li> </ul> <p>【視点5】環境教育の充実          ねらい：環境に関する様々な視点を学ぶ機会を設定することを通して、環境に興味・関心をもち、持続可能な社会を構築する一員としての意識や態度をはぐくむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教科・領域における学習と環境教育の関連を図った活動の充実</li> <li>・地域や学校の材を活用した体験的な学習の設定を行う。          (ふれあいいきんぐ：円海山 ふれあいい遊び：中学校予定地)</li> <li>・『横浜の時間』として問題解決的な学習の設定等を行う。</li> <li>○ 関係諸団体等との連携による活動の充実</li> </ul>
---

- ・環境創造局、一般企業等との連携等を活用する。（資源循環局工場見学 水再生センター見学）
- 児童・生徒による日常的な活動の充実
- ・ごみの機能的な分別の工夫等を行う。（環境委員会とクラスの分別系の活動）
- ・動植物の飼育・栽培を通した気付きの充実を図る。（飼育委員会の活動等）
- 校内環境の充実
- ・委員会やクラスの組織を生かしたり、技術員と協力したりしながら、植物の栽培、ピオトープ（じゃぶじゃぶ池・中庭 観察池・学習水田）の管理等を行う。

### 指針3 確かな人権感覚・意識の育成

#### 【視点6】人権教育の充実

ねらい：人権尊重の精神を基盤として、全ての教育活動で人権教育を行うことを通して、子どもの自尊感情が育ち、自分と他者の人権を大切にしようとする意識が育つようにする。また、自分の大切さとともに他の人の大切さを認め、それが様々な場面や状況下で具体的な態度や行動に現れるようにする。

- 港南台ひの特別支援学校との交流
  - ・連携をとって計画的に取り組むことで、子どもが様々な障がいのある友達とのかかわりを持ち、考えを広げていけるようにする。
- まち懇・地域への協力要請
  - ・地域の中で、子どもたちの自尊感情が育つようなかかわりを推進してもらうとともに、学校の教育活動にも積極的にいかかわっていただく。

#### 【視点8】特別支援教育の充実

ねらい：一人ひとりの特性を理解し、子どもの自尊感情の醸成、コミュニケーション能力、意志決定や問題解決能力などの向上を図り、だれもが安心して豊かに過ごすことができる学級・学校の風土が醸成されるようにする。

- 子どもの特性理解と、指導や支援方法の工夫を図る。
  - ・全職員での子ども理解、児童支援専任を中心とした校内委員会などで子どもや家庭の困り感、願いに寄り添った指導や支援をチームとして行う。
  - ・港南療育センターや、ひの特別支援学校のセンター機能、学校カウンセラー、区役所、児童相談所など各専門機関と連携を図り、子どもと家庭を支える体制をつくる。
- Y-P アセスメントの支援検討会による教師の人権感覚・意識の育成
  - ・Y-P アセスメントの支援検討会の実施により、学級課題の改善や子ども個人の課題の改善に向けて校内の指導体制を整え、教師集団が「だれもが安心して豊かに」過ごすことができる学級風土づくりへ向けた協働ができるようにする。
- Y-P アセスメントの支援検討会による教師の人権感覚・意識の育成
  - ・Y-P アセスメントの支援検討会の実施により、学級課題の改善や子ども個人の課題の改善に向けて校内の指導体制を整え、教師集団が「だれもが安心して豊かに」過ごすことができる学級風土づくりへ向けた協働ができるようにする。

### 指針4 豊かな感性や情操の育成

#### 【視点11】豊かな感性・情操を育む読書活動の充実

ねらい：読書活動の充実による豊かな読書体験を通して、主体的に読書に親しむ習慣を身に付け、言葉を学び、感性を磨き、表現力や創造力を高め、豊かな知性や感性を身に付けられるようにする。

- 読書に親しむ機会の充実
  - ・朝読書 音読カードの取組 全校(学年)読書集会
  - ・教職員や読書ボランティア（わくわくえほん隊、朗読ボランティアあいうえお）、司書教諭、高学年児童による本の読み聞かせやブックトーク等
- 主体的な読書活動の推進
  - ・学校図書館を活用した学習。・本や資料を活用した課題解決学習（本、新聞、郷土に関わる図書資料等）
  - ・児童生徒による読書啓発活動（読書会の開催、本の帯やポップ等の作成、ブックトークや読書郵便など）
  - ・読書による人と関わる活動（読書体験交流、読書会、読書郵便等）